

2020年度（第65期）事業計画

1. 行事予定

行 事 名	期 日	場 所	摘 要
トライボロジー会議 2020 春東京	中止	東京	
学会賞授賞式・特別フォーラム	中止	東京	
第 64 期評議委員会	中止	東京	
第 64 期定時社員総会	2020. 5. 26	東京	
トライボロジー入門西日本講座	2020. 9 月予定	大坂	第 13 回
トライボロジー入門講座	2020. 10 月予定	東京	第 51 回
トライボロジー秋の学校	2020. 10 月予定	山形	第 11 回
トライボロジー会議 2020 秋 別府	2020. 11. 11-13	大分	
日韓トライボロジーシンポジウム	2020. 11. 11-13	大分	第 3 回
トライボロジー応用講座（設計編）	2020. 11 月予定	東京	第 2 回
トライボロジー応用講座（実験・計測編）	2020. 11 月予定	東京	第 2 回
トライボロジー先端講座	2020. 12 月予定	東京	第 66 回
トライボロジー懇談会	2021. 1 月予定	東京	第 457 回
日中トライボロジー先端フォーラム	未定	未定	第 11 回
日本-マレーシア トライボロジーシンポジウム	未定	マレーシア ランカウイ島	第 6 回
第 65 期第 1 回維持会員企業懇談会	未定	東京	
摩擦の科学×謎解き体験学習プログラム 2020 プログラム(1)	2020. 12 月予定	東京	
摩擦の科学×謎解き体験学習プログラム 2020 プログラム(2)	2021. 1 月予定	東京	

- ・新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に鑑み、会員および関係者の健康と安全を最優先するため、5月25日～27日に東京都で開催予定のトライボロジー会議 2020 春東京および同会議の関連行事である特別フォーラム、評議委員会、学会賞授賞式を中止する。
- ・新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に鑑み、4月10日～12日に三重県で開催予定の第11回日中トライボロジー先端フォーラムと2020年9月28日にマレーシア・ランカウイ島で開催予定の第6回日本・マレーシア トライボロジーシンポジウムの開催を延期する。

2. 会 誌

会誌を毎月発行する。特集は「コスメティックスに関わるトライボロジー」、「表面テクスチャによる摩擦制御」、「自動車のトライボロジー 燃費対策のこれまでとこれから」、「スポーツやアスリートを工学の観点からみる」、「省エネルギー潤滑油技術の最新動向」、「最近の転がり軸受評価技術」、「微量水分とトライボロジー」、「マルチスケール・マルチフィジックスシミュレーションの最新動向」、「鉄道のトライボロジー部材に関する最近の技術」、「食品に関するトライボロジー技術」、「弾性流体潤滑に関する研究の最新動向」、「自動車用歯車の耐摩耗性向上に関する技術動向」を計画している。

Tribology Onlineでは、通常の年間4号発行に加え、ITC Sendai 2019特集号（Part II）発行およびWTC2021特集号発行の準備を進める。

3. 研究会

次の活動を計画している。

(学会指定研究会) トライボロジー技術への AI 活用を考える研究会 (新規)

(産学協同研究会) 添加剤技術, 固体潤滑, グリース, 転がり軸受寿命

(会員提案研究会) エンジン潤滑, 転がり疲れ, シール, ファイル記憶のトライボロジー, 摩耗, メンテナンス・トライボロジー, 塑性加工のトライボロジー, トライボケミストリー, 自動車のトライボロジー, アルミニウムのトライボロジー, 高分子材料のトライボロジー, “超”を目指す軸受技術, スペーストライボロジー, 分子シミュレーションのトライボロジーへの応用, 変速機のトライボロジー, 機能性コーティングの最適設計技術, テクスチャリング表面のトライボロジー, 境界潤滑, 工作機械のトライボロジー, トライボダイナミクス, 表面力

(地区研究会) 日本海トライボロジー, 北海道トライボロジー

4. 主な取り組み

各委員会がシームレスな活動を継続し計画的に目標を達成するため, 以下に取り組む。

- ・ 理事会や委員会をリモート開催するための Web 会議の利用環境を整備する。
- ・ デジタル会員証の会員への周知活動と活用方法の検討を行う。
- ・ 教育活動に貢献した会員の業績, 功績を表彰するための教育貢献賞の検討を開始する。
- ・ 若手社会人のネットワーク形成支援を目的とする会員限定の交流会や新たな会員資格の検討など, 会員の維持増強と活動の活性化, 収益性向上に向けた取り組みに着手する。
- ・ 次世代教育活動を定着させるとともに広報活動を強化する。摩擦の科学×謎解き体験教育プログラムの開催に加え, トライボロジー会議 2020 秋別府において次世代教育シンポジウムを開催する。
- ・ 規程類の見直しを適宜行い, 最新のガバナンスと整合した状態を維持する。
- ・ 会誌「トライボロジスト」に維持会員の情報を掲載し, 会員サービス向上を図る。
- ・ 会誌「トライボロジスト」の技術論文掲載を推進する。
- ・ Tribology Online の校閲業務における国際化および校正業務における効率化をさらに推進する。
- ・ Tribology Online で, インパクトファクター取得に向けた質の高い論文掲載を推進する。
- ・ トライボロジーハンドブック編集委員会を立ち上げて, 改定作業に着手する。トライボロジーハンドブック以外にも本会で出版すべき書籍案を選定し, 新規書籍の出版企画を立ち上げる。
- ・ 教育講習の各講座のアンケート結果に基づくさらなるブラッシュアップを行うとともに, 第 64 期から開始した応用講座 (設計編), 応用講座 (実験・計測編) を着実に実施し, トライボロジーの実務に対応する上でより効果的な教育プログラムを提供する。
- ・ トライボロジー会議および講習会の参加者の利便性向上のため, クレジットカード決済を開始する。
- ・ トライボロジー会議および各種講習会, 各研究会の非会員の参加者に対して学会紹介を行い, 改定した学会パンフレットを配布することで, 会員メリットを広く周知する。
- ・ JAST のプレゼンス向上の一環として, 英語版ホームページの構成見直し, ならびに英語版のパンフレットの発行に向けて準備を行う。
- ・ 学会指定研究会「トライボロジー技術への AI 活用を考える研究会」を新たに立ち上げる。
- ・ 会員メリットを明確にするため, 会員提案研究会の参加資格を個人会員ならびに維持会員企業に所属する非会員 (維持会員等級によって定められた上限以内の人数) に限定することを徹底する。また, 増強・広報情報委員会と協力して, 会員増強に取り組む。
- ・ 奨励賞を, 本学会により相応しい賞にすることを目指し, 定義の部分から再度見直す。
- ・ ドイツトライボロジー学会 GfT との連携強化策を検討する。
- ・ トライボロジー国際技術交流会の 5 年間の活動結果をもとに, 今後のトライボロジー国際技術交流会の活動方針を検討する。